

## DENBAと業務提携 南日本運輸倉庫



後藤社長(左から2人目)  
と大園社長(同3人目)

南日本運輸倉庫「DENBA+」(大園圭一郎社長、東京都中野区)は16日、貯蔵物の鮮度保持の高い技術を有するDENBA(後藤隆隆社長、同千代田区)と業務提携を締結、調印した。

DENBAは、電子微細振動により原産品を届ける、新しい物流手法として「次世代コールドチェーン」を

「南日本運輸倉庫ではこの手法で国産品の世界販路拡大が期待でき、生産者をも支援できる。素材を無駄にすることなくフードロスを解消し、積載効率向上に伴うCO2削減も実現する」と話す。

業務提携ではまず、昨年11月、栃木県に竣工した南日本運輸倉庫の佐野チルド・フローズン物流センターで「次世代コールドチェーン実

### 次世代コールドチェーン目指す

証実験」を近日中に開始し、「食肉から果物まで様々な商品を対象に、最適な状態を分析し、『鮮度維持モデル』を確立する」と述べる。さらに「DENBAと合併会社を設立し、生鮮食品のサプライチェーン・ソリューション・サービスの提供を開始する」と語る。(小澤 裕)